

最高裁判所 御中

# 「JR 山科・京都間痴漢えん罪事件」柿木さんの無罪判決を求める要請書

2011 年 1 月 18 日、大阪府の中学校教員・柿木浩和さんは、朝のラッシュ時に普段にも増して混雑していた JR 車内で、押されて前の女性のお尻に偶然手が当たったことを「痴漢行為」だとして、逮捕・起訴されました。この事件について、京都地方裁判所は柿木さんに罰金 40 万円の有罪判決を下し、控訴審においても大阪高等裁判所もこれを支持し、控訴を棄却しました。

この裁判は「被害者」の証言もなく、逮捕後に行われた繊維微物鑑定においても柿木さんの手から「被害者」のスカートの繊維は検出されないなど、柿木さんを有罪と認定できる客観的証拠はありません。唯一、「痴漢行為」を現認したとする警察官の供述も重要部分で変遷しており、かつ、その現認状況についても不自然な点が多々あることが、公判を通じて明らかになりました。

ところが、原判決は警察官の供述の変遷については「不合理な変遷があったということができない」と目を向けず、第三者の目撃証言についてもまともに採用しないなど、公正な審理が行われたとは思えません。さらに、電車の混雑状況については証言の一部分だけを取り出して「目撃することが十分可能」と結論づけ、現認の可否を左右するショルダーバッグに関する警察官の供述の辻褄が合わないことについても、説明ができなくても信用性を否定しないなど、特異な推論で強引な結論を導いています。

「疑わしきは被告に利益に」という推定無罪の原則に照らせば、当然柿木さんは無罪です。私たちは、貴裁判所が原判決を取り消され、柿木さんに無罪判決を下して下さいますよう強く要請します。

氏 名	住 所

取扱団体 柿木浩和さんをえん罪から救う会・日本国民救援会滋賀県本部  
(連絡先 大津市京町 3-4-12 アーバン 21 5 階 滋賀第一法律事務所内)